
九州新幹線西九州ルート整備促進にかかる決議

西九州新幹線（長崎～武雄温泉）は、昭和 48 年の整備計画路線の決定から、約半世紀を経て、令和 4 年 9 月 23 日に開業し新たな出発を迎えた。

開業に至るまでには、県北地域の皆様の苦渋の決断や多くの方々の尽力があったことを決して忘れてはならず、そのような先人の方々のためにも、この開業を必ずや地域の活性化に結び付けなければならない。

今回の開業を契機に、新幹線開業の効果を最大限に高め、島原半島地域、県北地域、離島地域を含む県内各地へ広く波及・拡大させていくためには、関係団体等との連携を強化し官民一体となり、受入体制の充実に努め、再訪客の増加に繋げていくことが極めて重要である。

一方、新鳥栖～武雄温泉間については、未だ整備方式が決定していない。人口減少が喫緊の課題である本県にとって、全国の新幹線ネットワークにつながり、関西直通運行を実現し、さらなる交流人口の拡大や整備効果の最大化を図ることが非常に重要であり、その実現を図る手法として、本協議会は、全線をフル規格で整備する必要があると考えている。

整備方式については、現在、国土交通省と佐賀県など、関係者間で協議がなされているところであり、政府・与党に対して、西九州地域の活性化や持続的発展のため、早期の整備実現に向けた対応を求める必要がある。また、西九州ルートへの直通運行も視野に入れた J R 佐世保線の輸送改善に向けた支援を求める必要がある。

そのため、本協議会の会員それぞれが主体となって、お互いに連携し、知恵と力を合わせながら、開業効果の最大化及び全線の早期整備に向けて取組を推進していくことを決議する。

令和 5 年 6 月 5 日

長崎新幹線・鉄道利用促進協議会